

# 社会資本総合整備計画書

(福岡県北九州市)

平成22年4月6日

平成22年12月15日変更

平成24年2月22日変更

第1章 市街地整備

平成24年2月22日

計画の名称	小倉地区の中心市街地の魅力づくり、にぎわい再生		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 (3年間)	交付対象	福岡県北九州市
計画の目標			

小倉地区は、特色ある歴史・文化・伝統が育まれた北九州市の顔であり、古くから交通の要衝という地の利を活かして、商業・文化・都市基盤等の多様な機能が集積し発展してきた。しかしながら、近年の消費者ニーズの多様化や、公共交通機関利用者の減少などにより、都心への来訪者数が減少し、これに伴い事業所や従業者数も減少しており、中心市街地内の賑わい、魅力が低下している。そのため、中心市街地内の低未利用な土地や空きビル等を活用し、北九州市の都心としてふさわしい都市機能の集積を促進し、まちの魅力づくりや昼間人口の拡大によるにぎわいの向上を図る。

計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者通行量(旧東映会館南側)を11,100人/日(H21)から11,700人/日(H24)(600人増)に増加</li> <li>・事業所従業者数(浅野三丁目(公称町名)及び船場町(公称町名))を3,700人(H21)から3,815人(H24)(115人増)に増加</li> <li>・居住人口(浅野三丁目(公称町名)及び船場町(公称町名))を196人(H21)から576人(H24)(380人増)増加</li> </ul>		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H24末)	
旧東映会館南側における歩行者通行量を測定する。(土・日・平日 9~19時における歩行者通行量の平均)	11,100	11,700	11,700	
それぞれの施設における事業所従業者数を調査する。	3,700	3,815	3,815	
それぞれの施設における居住人口を調査する。	196	576	576	
全体事業費	合計 (A+B+C)	12 百万円	A 10 百万円 B 0 百万円 C 2 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C) 16.7%

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	再開発	一般	北九州市	間接	社会福祉法人風花会	浅野三丁目1番地区暮らし・にぎわい再生事業	老人ホーム、賃貸住宅等(0.35ha)	北九州市						10	別添1
合計													10		

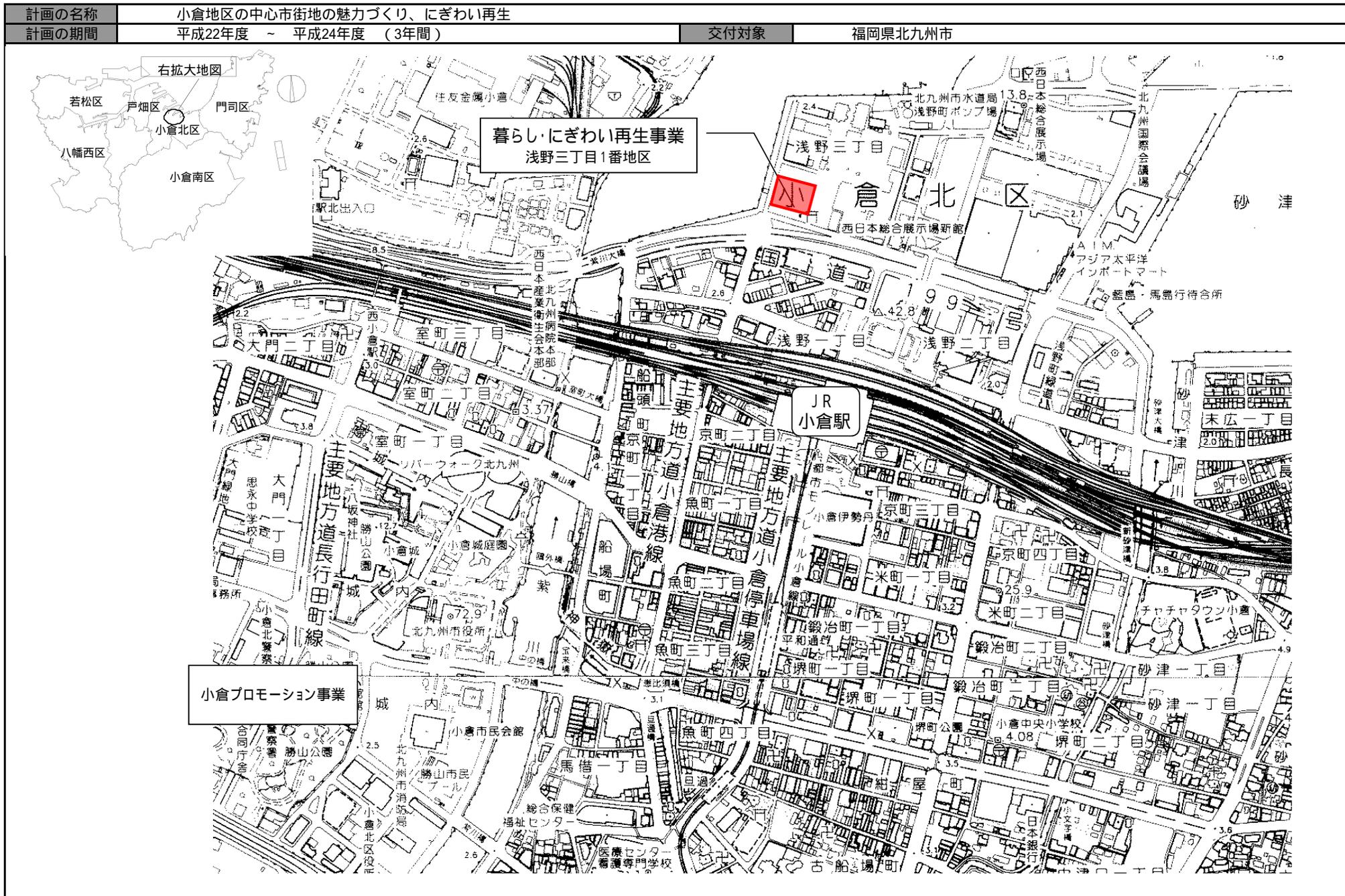
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-2	社会実験	一般	北九州市	直/間	北九州市/実行委員会	小倉都心プロモーション事業	賑わい創出を目的とした社会実験	北九州市						2	
合計													2		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-2	まちを全体で小倉都心のプロモーションを社会実験で実施し、小倉都心の魅力や価値を市内外に恒久的にPRする施策につなげる。	

(参考図面) 市街地整備



1. 地区の現状

本地区は、小倉駅の北口に位置し、現在、国道199号に面した平面駐車場として利用されている。小倉駅の北口は、商店街や大型商業施設等が集積する南口に比べ、業務機能、コンベンション施設が集積しているものの、賑わいに乏しい状況である。

2. 都市機能立地の方針・概要

本地区の近隣では中心市街地活性化の主要事業である「小倉記念病院」の移転新築事業が進捗しており、これを契機に、周辺で関連産業の集積等が進み、街なかに相応しい都市機能の充実が図られることが期待される。  
そこで本地区では暮らし・にぎわい再生事業の都市機能導入支援により高齢者支援施設（老人ホーム等）及び賃貸住宅等を整備し、老後も安心して暮らせる都市福祉施設の充実及び街なか居住の促進を図る。

3. 都市機能導入施設の整備効果

- ・事業所従業者数の増加 約90人
- ・街なかに高齢者支援施設と住宅が整備されることによって、街なか居住の魅力が高まることが期待される。  
(居住人口の増加 約180人)

4. 都市機能導入施設の整備計画の概要

施設名	(仮称)浅野ビル	事業期間	H22～H24
補助種別	コア事業	補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数	地上15階	構造	耐火構造
敷地面積 (㎡)	3,515㎡	延床面積 (㎡)	12,792㎡
施設用途	老人ホーム、デイサービスセンター、薬局、賃貸住宅、商業施設		
施設名	立体駐車場	事業期間	H22～H24
補助種別	コア事業	補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数	地上4階	構造	準耐火構造
敷地面積 (㎡)	3,515㎡	延床面積 (㎡)	6,441㎡ 333台
施設用途	上記の施設に付随する自動車車庫		

5. 事業スケジュール

